

授業科目名	疾 病 と 治 療 V			担当教員	千原 明美	
開講年次	4 年前期	セメスター	7	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	選択	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	学習した知識と臨床で学んだ実際を関連させながら、様々な疾病とその治療を理解する能力を獲得する。					
到達目標	1. 人体の構造と機能で学修した、解剖・生理学の知識と疾病の病態・症状の関連を述べることができる。 2. 疾病の検査・診断・治療を理解し、科学的根拠に基づいた看護展開に必要なアセスメントを述べるができる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	人体の構造と機能（Ⅰ～Ⅳ）、疾病と治療（Ⅰ～Ⅳ）、病態生理学、人体と薬物、治療検査と看護などこれまで学修してきた科目の最終学年での総まとめになります。実際に臨床で看ることが出来た疾患や、座学でしか学べていない疾患についても、自己教育力をフルに発揮し、知識の再確認および不十分な知識を確実にするための科目です。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
		◎		○		
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)		取組時間	担当者
1	【オリエンテーション】人体の構造と機能と疾病の成り立ちの知識を、治療・検査・看護に結び付ける学修方法について A. 運動器系・感覚器系の構造・機能及び疾病 (骨・関節疾患、筋・神経接合部疾患、視覚・聴覚障害について)	講義	予習：運動器系、感覚器の構造・機能について教科書を読んで、骨折（各世代に多い骨折）、緑内障・白内障の病態・検査・治療方法を調べてくる 復習：指定された事後課題		予習：2 時間 復習：1 時間	千原
2	B. 脳神経系の構造・機能及び疾病 (中枢神経系疾患、末梢神経性疾患について)	講義	予習：脳・神経の構造・機能について教科書を読んで、脳出血・脳梗塞、パーキンソン病の病態・検査・治療方法を調べてくる。 復習：指定された事後課題		予習：2 時間 復習：1 時間	千原
3	C. 循環器系の構造・機能及び疾病 (心疾患、血管系疾患について)	講義	予習：循環器の構造・機能について教科書を読んで、心不全・虚血性心疾患の病態・検査・治療方法を調べてくる。 復習：指定された事後課題		予習：2 時間 復習：1 時間	千原
4	D. 呼吸器系の構造・機能及び疾病 (炎症性疾患、慢性閉塞性肺疾患・肺腫瘍について)	講義	予習：呼吸器の構造・機能について教科書を読んで、肺炎・COPD・肺がんの病態・検査・治療方法を調べてくる。 復習：指定された事後課題		予習：2 時間 復習：1 時間	千原

5	E. 内分泌系の構造・機能及び疾病 (内分泌系疾患、代謝異常の疾患について)	講義	予習：内分泌系の構造・機能について教科書で読んで、甲状腺疾患、糖尿病、脂質異常症についての病態・検査・治療法について調べてくる。 復習：指定された事後課題	予習：2時間 復習：1時間	千原
6	F. 消化器系の構造・機能及び疾病 (腎疾患、尿路系疾患について)	講義	予習：消化器系の構造・機能について教科書を読んで、上部・下部消化管悪性腫瘍、肝臓・胆嚢・膵臓の悪性腫瘍の病態・検査・治療法について調べてくる。 復習：指定された事後課題	予習：2時間 復習：1時間	千原
7	G. 腎・泌尿器系・生殖器系の構造・機能および疾病 (腎・尿路系疾患、女性生殖器疾患、乳腺疾患、生殖機能障害、)	講義	予習：腎・泌尿器、生殖器系の構造・機能について教科書を読んで、慢性腎臓病、尿路系悪性腫瘍、子宮がん、乳がん、前立腺肥大がんについての病態・検査・治療法について調べてくる。 復習：指定された事後課題	予習：2時間 復習：1時間	千原
8	F. 血液系・免疫系の構造・機能及び疾病 (血液・造血器疾患、自己免疫疾患、アレルギー疾患について)	講義	予習：血液系・免疫系の構造・機能について教科書を読んで、貧血、白血病、SLE、アレルギー疾患について調べてくる。 復習：指定された事後課題	予習：2時間 復習：1時間	千原
先行履修科目					
テキスト		人体の構造と機能、疾病と治療、治療検査と看護などの既習科目のテキスト・資料			
参考文献		林正健二 編：ナーシンググラフィカ① 人体の構造と機能 解剖生理学，メディカ出版，2017. 坂井建雄 / 岡田隆夫 著：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学，第10版，2018. 医療情報科学研究所 編：「病気がみえる」シリーズ，Vol. 消化器，Vol. 2. 循環器，Vol.3. 糖尿病・代謝・内分泌，Vol.4. 呼吸器，Vol.5. 血液，Vol.6. 免疫・膠原病・感染症，Vol. 7. 脳神経，Vol.8. 腎・泌尿器，Vol. 婦人科・乳腺外科，Vol.11. 運動器・整形外科，各第1版から5版，メディックメディア，2013～2017年.			
評価方法		試験 100%			
教員等の実務経験		多くの診療科の急性期・慢性期の看護を臨床で行い、第100回以降の看護師国家試験関連の出題基準及び出題傾向に詳しい看護教員が担当します。			
メッセージ		看護の専門職として、必要な知識は科学的根拠に基づくものになります。 最終学年でもう一度、臨床でも多い疾患の知識の確認を行い、今後の看護師国家試験や卒業後の臨床での看護展開に活かすことができるように、主体的にしっかり事前・事後の学修課題を含めて積極的に学びを深めましょう。			